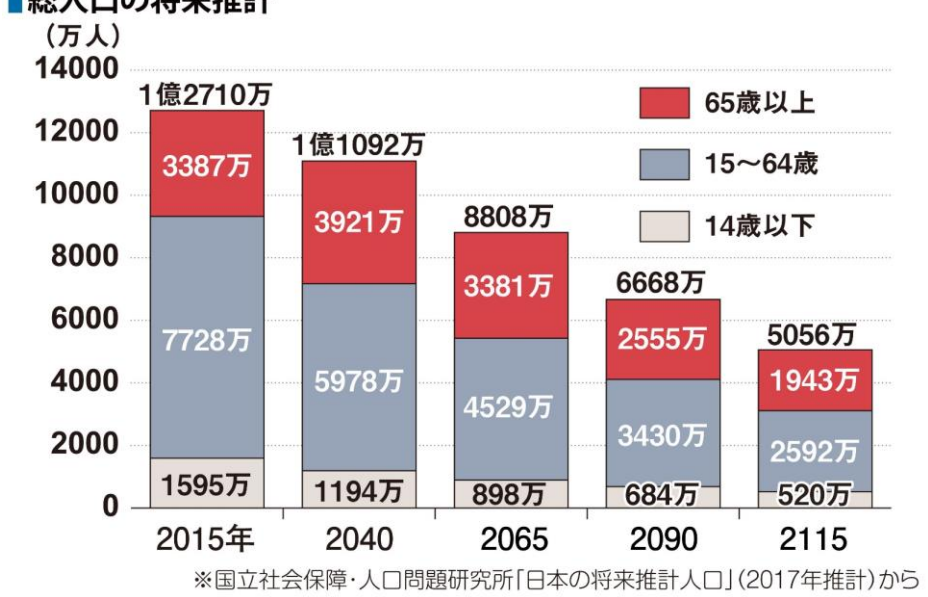
コロナ後の未来年表

人口減少日本で税理士に起きること



河合雅司





※国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（2017年推計）から

国勢調査(2020)基本集計

1億2614万6099人（前回比94万8646人減）

東京都1404.8万人　鳥取県55.3万人

日本人178.3万人減　外国人83.5万人増

39道府県がマイナス　33は減少加速

65歳以上3603万人　（75歳以上1860万人）

1人世帯 最多の2115万　（全世帯の38%）

2021年「ベビーショック」?

2021年の出生数は激減

出生数　2021年1～7月　前年同期比△5.7%

78万5600～79万2900人　△5万5000～4万8000人

78万人台なら、社人研推計より11年早い到達

2022年度以降も激減は続く?

婚姻数　2020年度　同期比△16.1%

2021年1～7月　同期比△0.1%

妊娠届　2021年4-7月　19年比△9.6%



激減する働き手（消費者）世代

20ー64歳人口		中位推計との差
2020年	6882.9万人	ーー
2040年	5511.3万人	△31.3万人
2050年	4715.2万人	△157.8万人
2060年	4162.7万人	△268.2万人



2020年は実績値、それ以外は国立社会保障・人口問題研究所の資料から（四捨五入）

高齢社会の4大特徴

- 高齢化する高齢者
- 女性高齢者の増加
- 1人暮らし高齢者の増加
- 貧しい高齢者の増加

2020国勢調査(愛知県)

県人口754万2415人 (前回比0.8%増)

前回比5万9287人増 過去最低の伸び率

54市町村のうち6割の32で人口増加

名古屋233.2万人 豊田42.2万人 岡崎38.5万人

30万人以上の6市で県人口の55.7%

世帯数323万3126(5.7%増) 平均2.29人

愛知県の人口推計

	2015	2045 (指数2015＝100)	
総人口	7,483,128	6,899,465	(92.9)
14歳以下	1,024,976	811,506	(79.2)
15－64歳	4,675,922	3,803,026	(81.3)
65歳以上	1,782,230	2,284,933	(128.2)
75歳以上	808,449	1,278,535	(158.1)

国立社会保障・人口問題研究所の資料から

各自治体の総人口の推計

	2015	2045 (指数2015＝100)	
小牧市	149,462	135,277	(90.5)
春日井市	306,508	267,694	(87.3)
犬山市	74,308	59,945	(80.7)
江南市	98,359	77,705	(79.0)
岩倉市	47,562	42,255	(88.8)
大口町	23,274	23,574	(101.3)
扶桑町	33,806	30,069	(88.9)

国立社会保障・人口問題研究所の資料から

生産年齢人口の推計

	2015	2045 (指数2015＝100)	
小牧市	93,603	72,684	(77.7)
春日井市	187,173	143,633	(76.7)
犬山市	43,707	30,834	(70.5)
江南市	58,801	39,333	(66.9)
岩倉市	29,956	23,635	(78.9)
大口町	14,337	13,015	(90.8)
扶桑町	20,122	16,075	(79.9)

国立社会保障・人口問題研究所の資料から

税理士に必要なマーケット規模

全国の登録者数7万9956人(2021年11月)

税理士事務所が立地可能な人口規模

1万7500人　存在確率50%

2万7500人　存在確率80%

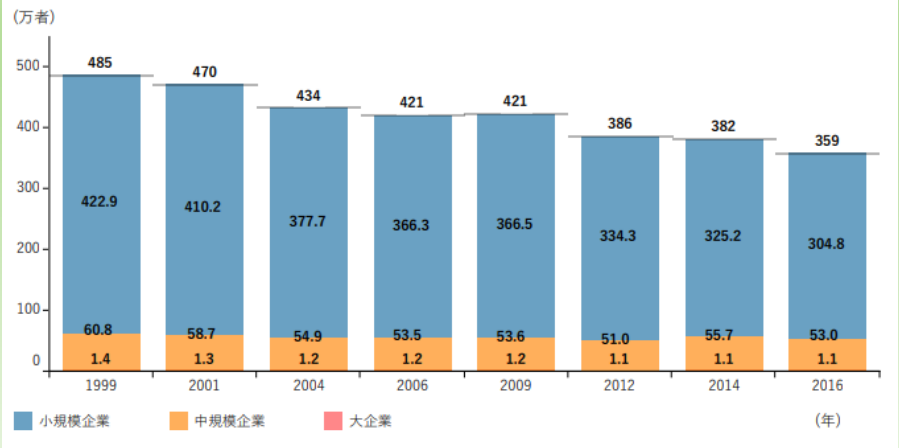
5万人以上ならば9割以上

10万人以上ならば10割



国土交通省などの資料から

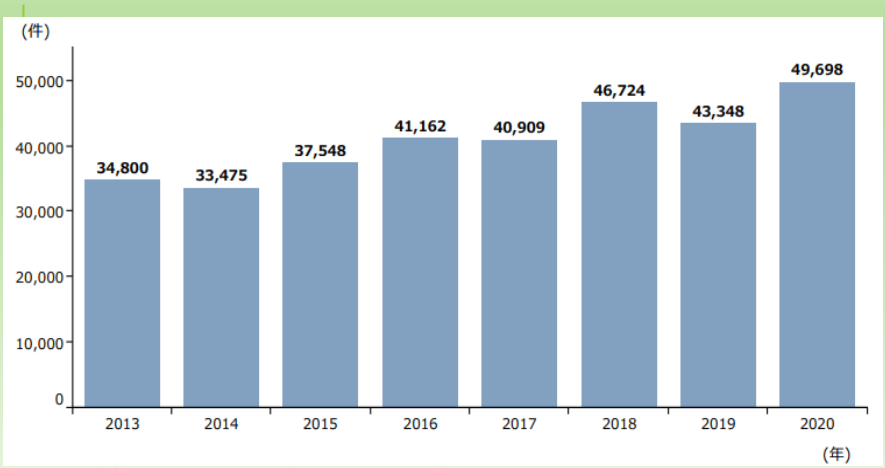
規模別企業数の推移



特に小規模企業が減少傾向

2020年版中小企業白書から

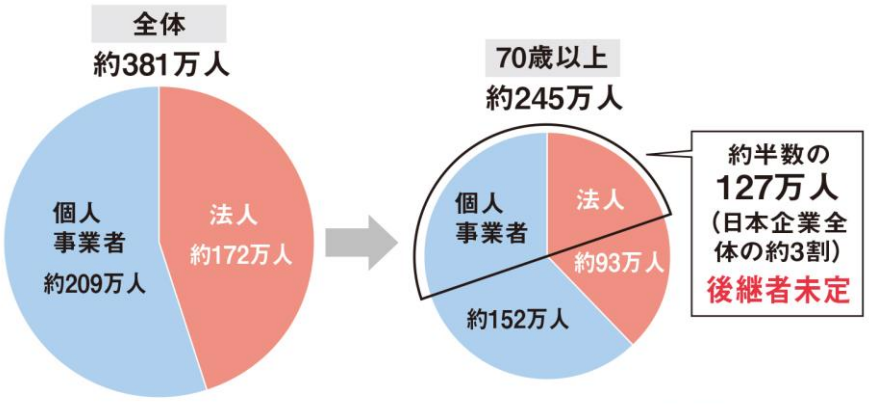
休廃業・解散件数の推移



コロナ禍で調査開始以降最多

2021年版中小企業白書(出典は東京商工リサーチ「2020年『休廃業・解散企業』動向調査)から

2025年における中小企業・個人事業経営者の年齢



経済産業省の資料から

「戦略的に縮む」という成長

シェア競争の量的拡大モデルは終焉

多重要因で内需が急速に減少

AIでは人手不足をカバーできず

売上高よりも利益高を重視

1） 付加価値アップで高価格化

2） 社員1人当たりの生産性向上

100人で100万円 ➡ 50人で80万円

変わるライフイベント

人生の「老後」だけが長くなる

低賃金で蓄え不十分、生前贈与できず

死別後の長生き　90代の単独世帯が増

定年後も親が存命…相続「親子逆転」も

1人っ子同士の夫婦　親のケア、複数相続

晩婚、晩産…子供の独立前に定年退職

「不動産双六」の崩壊…住宅が重荷

街づくりのお手本は欧州

地域包括ケアは機能するか
歩いて生活が完結する市街地へ
既存の〝賑わい〟を活かす
市街地に高齢住民向け公的住宅
地域内2居住、自宅と頻繁に往来
「共助」を組み込んだ行政の提供

※ この資料は著作物です。
著作権などの関係上、
無断で再利用することは
堅くお断り致します。



講師紹介

河合　雅司　（かわいまさし）

作家・ジャーナリスト・（一社）人口減少対策総合研究所理事長

1963 年、名古屋市生まれ。中央大学卒業。一般社団法人「人口減少対策総合研究所」理事長。産経新聞社論説委員を経て現職。

現在、高知大学客員教授、大正大学客員教授、東日本国際大学健康社会戦略研究所客員教授、日本医師会総合政策研究機構客員研究員、産経新聞社客員論説委員のほか、厚労省検討会委員、農水省第三者委員会委員なども務める。

2014 年に「ファイザー医学記事賞」の大賞、2018 年にＮＰＯ法人ひまわりの会「ひまわり褒章」の個人部門賞、2019 年に「第 80 回文藝春秋読者賞」を受賞。

人口減少日本で起きることを克明に描いた著書『未来の年表』（講談社現代新書）、続編の『未来の年表 2』（同）、最新刊の『未来の地図帳』（同）はいずれもベストセラーとなり、累計で 85 万部（2019 年 8 月末現在）を突破した。

これら以外にも『未来の呪縛』（中公新書ラクレ）、『日本の少子化　百年の迷走』（新潮社新潮選書）、『河合雅司の未来の透視図』（ビジネス社）など著書多数。新聞・雑誌への連載のほか、数多くのテレビ・ラジオ番組に出演。